



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2019年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 日本道路株式会社

コード番号 1884 URL <https://www.nipponroad.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久松 博三

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 三浦 武 TEL 03-3571-4051

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	66,307	4.7	1,947	18.4	2,209	15.5	3,052	170.3
2019年3月期第2四半期	63,340	9.9	1,644	9.3	1,912	2.3	1,129	△18.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 3,114百万円 (110.5%) 2019年3月期第2四半期 1,479百万円 (△39.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	347.26	—
2019年3月期第2四半期	128.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	142,098	82,359	57.9
2019年3月期	151,341	81,003	53.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 82,238百万円 2019年3月期 80,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	200.00	200.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	180.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	2.5	8,000	3.0	8,100	△0.7	7,060	55.1	803.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	9,761,618株	2019年3月期	9,761,618株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	971,412株	2019年3月期	971,354株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	8,790,248株	2019年3月期2Q	8,790,415株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	5
(四半期連結包括利益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
部門別受注・売上・繰越高明細(個別)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の日本経済は、海外情勢の先行き不透明感に加え、消費増税後の国内消費の落ち込みへの懸念があったものの、雇用・所得環境の改善が続くなか、高水準を維持しながらも一進一退で推移しました。

当社グループ（当社及び連結子会社、以下同じ。）の主要事業である建設業界においては、政府建設投資が引き続き20兆円を上回る水準を維持しており、民間建設投資も人手不足や働き方改革への対応等を背景とした省力化投資等を中心に、企業の設備投資は増加しており、底堅く推移しております。

このような状況下、当社グループは民間工事の受注機会増大のため積算・提案・情報収集等の総合力強化を図ってまいりました結果、工事受注高は58,755百万円（前年同期比20.8%増）、工事売上高は53,023百万円（同4.8%増）となり、製品等を含めた総売上高については66,307百万円（同4.7%増）となりました。

利益については、製造・販売事業において原材料価格の上昇等により利益は減少したものの、建設事業において工事売上高の増加に伴い利益が増加したこと等により、営業利益は1,947百万円（同18.4%増）、経常利益は2,209百万円（同15.5%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、独占禁止法関連損失引当金戻入額1,661百万円を特別利益に計上したこと等により3,052百万円（同170.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。（セグメントごとの経営成績については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しております。）

（建設事業）

当社グループの主要部門であり、売上高は53,042百万円（同4.8%増）、営業利益は1,774百万円（同13.7%増）となりました。

（製造・販売事業）

売上高は12,895百万円（同4.2%増）、営業利益は996百万円（同2.9%減）となりました。

（賃貸事業）

売上高は3,216百万円（同0.4%減）、営業利益は166百万円（同7.4%減）となりました。

（その他）

売上高は1,749百万円（同41.3%増）、営業利益は274百万円（同32.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産の部）

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、142,098百万円（前連結会計年度末比9,243百万円減）となりました。主な要因は、現金預金が2,069百万円及び流動資産「その他」に含まれている仮払消費税が4,660百万円増加し、受取手形・完成工事未収入金等が17,930百万円減少したことによります。

（負債の部）

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、59,739百万円（同10,599百万円減）となりました。主な要因は、支払手形・工事未払金等が6,988百万円及び電子記録債務が5,152百万円減少したことによります。

（純資産の部）

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、82,359百万円（同1,356百万円増）となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を3,052百万円計上し、株主配当金1,758百万円を支払ったことによります。

当第2四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フローの状況については、営業活動により6,164百万円資金が増加し、投資活動により2,526百万円、財務活動により1,558百万円資金が減少しました。

その結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ2,069百万円増加し、39,131百万円（前第2四半期連結累計期間末は37,883百万円）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純利益3,794百万円の計上等により6,164百万円の資金増加（前第2四半期連結累計期間は3,549百万円の増加）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

製造・販売拠点の拡充更新に伴う有形固定資産の取得等により2,526百万円の資金減少（同3,163百万円の減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

配当金の支払等により1,558百万円の資金減少（同1,120百万円の減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、概ね2019年8月9日に公表した業績予想の範囲内で推移していることから、現時点では変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	26,061	28,131
受取手形・完成工事未収入金等	58,839	40,909
電子記録債権	3,026	3,598
有価証券	10,999	10,999
商品	1,584	1,498
未成工事支出金	496	949
原材料	791	674
その他	9,858	14,811
貸倒引当金	△55	△46
流動資産合計	111,604	101,526
固定資産		
有形固定資産		
土地	16,737	16,830
その他(純額)	14,515	15,198
有形固定資産合計	31,253	32,028
無形固定資産	475	477
投資その他の資産		
投資有価証券	7,260	7,309
その他	1,154	1,138
貸倒引当金	△406	△383
投資その他の資産合計	8,008	8,065
固定資産合計	39,737	40,571
資産合計	151,341	142,098

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	32,286	25,297
電子記録債務	12,101	6,948
短期借入金	1,000	200
未成工事受入金	1,471	2,382
完成工事補償引当金	49	58
工事損失引当金	48	20
独占禁止法関連損失引当金	5,162	3,438
その他	8,057	10,011
流動負債合計	60,178	48,357
固定負債		
長期借入金	8,700	9,700
退職給付に係る負債	846	799
その他	613	882
固定負債合計	10,160	11,382
負債合計	70,338	59,739
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,290	12,290
資本剰余金	14,540	14,540
利益剰余金	53,606	54,900
自己株式	△1,673	△1,673
株主資本合計	78,763	80,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,753	2,785
為替換算調整勘定	△536	△567
退職給付に係る調整累計額	△104	△37
その他の包括利益累計額合計	2,112	2,180
非支配株主持分	127	121
純資産合計	81,003	82,359
負債純資産合計	151,341	142,098

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	63,340	66,307
売上原価	57,725	60,363
売上総利益	5,614	5,944
販売費及び一般管理費	3,969	3,996
営業利益	1,644	1,947
営業外収益		
受取利息	9	21
受取配当金	117	156
団体定期保険受取配当金	54	25
為替差益	58	21
その他	50	61
営業外収益合計	290	287
営業外費用		
支払利息	13	14
その他	10	10
営業外費用合計	23	25
経常利益	1,912	2,209
特別利益		
固定資産売却益	12	5
子会社株式売却益	5	—
独占禁止法関連損失引当金戻入額	—	1,661
特別利益合計	17	1,667
特別損失		
固定資産売却損	6	—
固定資産除却損	44	81
減損損失	69	—
特別損失合計	120	81
税金等調整前四半期純利益	1,809	3,794
法人税、住民税及び事業税	422	529
法人税等調整額	261	218
法人税等合計	684	748
四半期純利益	1,125	3,046
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	△5
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,129	3,052

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,125	3,046
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	381	31
為替換算調整勘定	△88	△31
退職給付に係る調整額	60	67
その他の包括利益合計	353	67
四半期包括利益	1,479	3,114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,483	3,120
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	△5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,809	3,794
減価償却費	1,824	1,779
減損損失	69	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△29	△31
独占禁止法関連損失引当金の増減額 (△は減少)	△486	△1,724
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△18	△47
受取利息及び受取配当金	△127	△178
支払利息	60	60
子会社株式売却損益 (△は益)	△5	—
固定資産除却損	44	81
賃貸資産除却損	32	27
賃貸資産の取得による支出	△296	△255
売上債権の増減額 (△は増加)	11,769	17,357
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△548	△452
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△17	203
仕入債務の増減額 (△は減少)	△9,217	△12,145
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	423	910
未払金の増減額 (△は減少)	△465	△1,061
その他	311	△197
小計	5,135	8,122
利息及び配当金の受取額	127	178
利息の支払額	△60	△65
法人税等の支払額	△1,652	△2,071
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,549	6,164
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,844	△2,290
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△92	—
その他	△226	△235
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,163	△2,526
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200	200
長期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出	—	△1,000
配当金の支払額	△1,318	△1,758
その他	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,120	△1,558
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	△10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△748	2,069
現金及び現金同等物の期首残高	38,631	37,061
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,883	39,131

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	建設事業	製造・販 売事業	賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	50,614	9,000	2,742	62,357	982	63,340	—	63,340
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	3,376	485	3,874	255	4,130	△4,130	—
計	50,627	12,376	3,228	66,232	1,238	67,470	△4,130	63,340
セグメント利益	1,560	1,025	179	2,765	208	2,973	△1,328	1,644

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産業、ソフトウェアの開発・販売及び事務用機器の販売、損害保険代理業、スポーツ施設等の企画・運営他を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△1,328百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,336百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の本社管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメント「建設事業」事業用資産について、収益性の低下に伴い、投資額の回収が見込めなくなったため、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては69百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	建設事業	製造・販 売事業	賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	53,023	9,414	2,724	65,162	1,144	66,307	—	66,307
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19	3,481	492	3,992	604	4,596	△4,596	—
計	53,042	12,895	3,216	69,154	1,749	70,904	△4,596	66,307
セグメント利益	1,774	996	166	2,937	274	3,211	△1,264	1,947

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産業、ソフトウェアの開発・販売及び事務用機器の販売、損害保険代理業、スポーツ施設等の企画・運営他を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△1,264百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,272百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の本社管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

部門別受注・売上・繰越高明細 (個別)

(単位：百万円)

区分			前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		増減	
			金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
受注高	建設事業	舗装工事	25,838	51.8	35,229	57.7	9,391	36.3
		土木工事	14,154	28.3	15,486	25.4	1,332	9.4
		建築工事	364	0.7	496	0.8	132	36.2
		計	40,356	80.8	51,212	83.9	10,855	26.9
	製造・販売事業		9,489	19.0	9,783	16.0	293	3.1
	その他		81	0.2	46	0.1	△35	△43.3
	合計		49,927	100	61,042	100	11,114	22.3
売上高	建設事業	舗装工事	30,308	57.6	33,502	58.9	3,193	10.5
		土木工事	12,447	23.7	13,238	23.3	791	6.4
		建築工事	264	0.5	304	0.5	39	14.9
		計	43,020	81.8	47,044	82.7	4,024	9.4
	製造・販売事業		9,489	18.0	9,783	17.2	293	3.1
	その他		81	0.2	46	0.1	△35	△43.3
	合計		52,591	100	56,874	100	4,283	8.1
繰越高	建設事業	舗装工事	33,107	69.9	46,514	74.3	13,406	40.5
		土木工事	13,966	29.5	15,705	25.1	1,739	12.5
		建築工事	285	0.6	343	0.6	58	20.4
		計	47,359	100	62,562	100	15,203	32.1
	製造・販売事業		—	—	—	—	—	—
	その他		—	—	—	—	—	—
	合計		47,359	100	62,562	100	15,203	32.1